

市長とのかがやきライフトーク

と き：平成20年11月21日（金） 18：00～19：30

ところ：上石津地域事務所 大会議室

団 体：上石津のまちづくりを考える会（19名）



【団体】

若者たちが都会に出てしまい、少子高齢化により地域の担い手が減少しているため、将来に不安を感じていました。そのようなときに、今後のまちづくりを考え、地域の魅力づくりと活性化、防災・福祉の充実を図るため、自治会が中心となり35団体が参加して牧田まちづくり協議会を設立しました。

協議会では広報、ボランティア、文化、地域づくりなどの7つの部会に分け、それぞれ活動しています。各世帯にアンケートをお願いして、地域のいろいろな方の意見を聴きながら、今年は土台づくりにしようと「牧田よいとこ」を発行して配布しました。

【市長】

まちづくり協議会は社会福祉協議会のように、多くの団体が集まり、地域の防災や福祉向上のために活動されているのですね。

高齢化・少子化は全国的な問題になっていますが、牧田地区には工場、会社があり上石津の皆さんが通勤されていると思っていましたが少ないのですね。

【団体】

若い人たちは市外へでてしまい、通勤している人はごくわずかです。近くに企業が出来ても近くで就職される方もあまりありません。若者が住んでいけるまちづくりをしていかなければならないと思っています。大垣や岐阜に企業が進出してもらった方が、自宅からの通勤圏になりますので若者が住んでもらえると思います。また、そのような方々を地区に呼び込んで活性化を図りたいと思います。

【団体】

一之瀬は自然の美に恵まれ、牧田川の中でも一番美しい瀬ということで、名づけられた地区です。明治時代に造林が進められ、林業が活性化し良質な木材を産出していたが、最近では木材の低迷もあり、林野の荒廃が進み苦慮しているところです。植林などの手入れを行おうと思っても、林道が整備されていないと出来ませんし、ますます荒廃が進んでしまいますので、林道や作業道を整備していただきたいと思っています。

山には天然記念物の石楠花が自生しており、それを生かして観光名所になるように整備できればと考えています。

一之瀬地区で年間を通じて様々な行事を行っています。春にサツマイモの苗を植え、秋にはコスモスまつりを開催して、市内外の方々に参加してもらいサツマイモ掘りを行い、子供から大人まで楽しんでもらっています。また、小学校の運動会を午前中に開催し、午後からは地区運動会ということで地域の方々に参加してもらっています。

歩け歩け大会もあり、今年は大垣の「ふるさと再発見おおがきウォーキング」での参加を予定しています。

【市長】

森林資源は水源の涵養、地球温暖化の防止という効果があります。また地元の森林資源を住宅用の木材で使用するなど、地産地消の運動も行っています。

林道については、時山で土砂崩れがあり、一本しかない生活道路が通行止めになり時山地区が孤立してしまいましたので、改めて道路の大切さを痛感しました。上石津・多賀線を整備してもらえるよう県に要望していきたいと思います。

【団体】

一之瀬奥山には天然記念物の石楠花の群生地がありますが、見に行きましたら雑草等が生え荒れていました。できれば天然記念物を生かして一之瀬の観光名所になるように整備できればと思っています。

【市長】

石楠花については人工栽培で増やすこともできませんし、手入れも難しいでしょうが、なんとか守っていきたいですね。また、牡丹、桜も上石津の財産として守っていかないといけませんね。

【団体】

現在の防災無線が廃止になると聞いていますが、それに代わる放送設備はどうなるのでしょうか。山間部、谷間では聞きとりにくい地域もありますので、改善していただけるとありがたいです。

【市長】

上石津の防災行政無線は平成2年に設置され、20年近く経過していますので、かなり老朽化も進んでいます。また、アナログ放送ですのでデジタル化も進めていかなくてはなりません。綿密に計画を立て、現地調査を行うなどして、皆さんに放送が聞き取れるようにしていきたいと思っています。

【団体】

時は鈴鹿山脈と養老山脈に囲まれた里山地区であり、大垣市の外れではなく、三重県側から大垣市への入口だと考えています。このすばらしい自然を残したまま、温泉を利用したまちづくりを行い地域の活性化を図りたいです。

【市長】

温泉事業では足湯体験や宅配サービスなど、やれることから行っています。そして市民の皆さんにPRを図っているところです。

【団体】

消防団では団員の確保に苦労しており、活動できるぎりぎりの人数で活動しています。幅広い年齢層の人が集まっていますがコミュニケーションもよく団結しています。会社員の団員が多く、消防活動への理解がなかなか得られない企業もあり、そのようなことも苦労しています。

【市長】

消防団員が減少しているのは、全国的な問題になっており、大垣の中心市街地の分団の方が団員不足が深刻な状況です。上石津や墨俣は地域のコミュニケーションもよ

く多くの方が消防団活動に参加していただいていると思っています。また、市職員にも日頃から、消防団活動や青年活動に積極的に参加するよう呼びかけているところです。

【団体】

上石津にはそれぞれの地区に小学校がありますが、小学校は地域のシンボルであり、地域、保護者、学校が一体となって子供を育てないといけないと思っています。子どもたちも素直ですし、都会の子供のように不登校や非行のような問題もありません。子供たちは地域の宝であり、これからも地域で育てていきたいと思っています。

また、空き家もありますので、大垣の方々に家族で住んでいただいて、こちらの小学校に通ってもらえるとありがたいです。

【市長】

子育て日本一を目指す中で、少人数教育を推進していますが、上石津は自然に少人数になっていますし、恵まれた環境の中で、子供たちが仲良く一体感を持って、学校で勉強してもらっていると思います。

家族で住んでもらうというのはとてもいい発想ですね、親さんの仕事の関係もありますので、支障がなければいいですよ。

【団体】

山林は大垣市にとって貴重な資源・財産であり、荒廃した山林を再生し、次の世代のために大切に残していかなければならないと思います。そのため、モミジの植栽や、松茸山の再生にも取り組んでいます。

【市長】

モミジの植栽には参加させてもらっていますが、多良峡を豊かな森林づくりの拠点としていきたいと考えています。

【団体】

上石津は地域で子供たちを育てていこうという気持ちが強いです。これは市街地にはないすばらしい点だと思います。小学校ではふれあい参観があり、両親だけでなく祖父母など家族みんなで参観される方が多いです。

また、この頃は子供たちが川や山へ行くのは危険だからということで、自然と触れ合う機会が少なくなっていると思います。秋まつりの時などには子供たちがドン

グリ拾いをして楽しんでいます。ドングリの木は危険なところにあたりしますので、子供たちが親しめる場所に自然がないのかもしれませんが。

【市長】

以前、全国的な調査の中で「子供たちの自然体験が少ない」という項目で、岐阜県はワースト5位というデータがありました。岐阜県は山林が多いにも関わらず、どうしてだろうかと考えていましたが、自然は多いけど危険だからという理由で規制してしまっていることが原因かもしれませんね。

上石津の自然は大垣市の財産ですので、この財産を活用して活性化を図りたいと考えています。また、林道や産業道の整備も地権者の皆さん、地域の方々の協力をいただきながら進めたいと考えています。